



平成23年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年6月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 くらコーポレーション
コード番号 2695 URL <http://www.kura-corpo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 邦彦
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 南垣内 啓太

TEL 072-368-6211

四半期報告書提出予定日 平成23年6月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年10月期第2四半期の業績(平成22年11月1日～平成23年4月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年10月期第2四半期	36,283	5.6	1,551	△40.3	1,785	△34.8	770	△50.8
22年10月期第2四半期	34,345	14.9	2,598	78.7	2,740	73.2	1,563	111.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年10月期第2四半期	37.20	—
22年10月期第2四半期	15,107.64	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年10月期第2四半期	29,384	17,149	58.4	828.47
22年10月期	27,566	16,627	60.3	803.27

(参考) 自己資本 23年10月期第2四半期 17,149百万円 22年10月期 16,627百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年10月期	—	0.00	—	12.00	12.00
23年10月期	—	0.00	—	—	—
23年10月期 (予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年10月期の業績予想(平成22年11月1日～平成23年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	76,208	7.7	4,240	△10.7	4,651	△7.4	2,355	△17.2	113.78

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年10月期2Q 20,699,800株 22年10月期 20,699,800株

② 期末自己株式数 23年10月期2Q 一株 22年10月期 一株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年10月期2Q 20,699,800株 22年10月期2Q 103,499株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりますが、この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外となっております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P.3「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

2. 平成22年3月15日付で公表しておりますとおり、平成22年5月1日を効力発生日として普通株式1株につき200株の割合で株式を分割しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(第2四半期累計期間)	5
(第2四半期会計期間)	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

（1）経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新興国を中心にした好調な海外経済に支えられた外需や、各種の政策効果などを背景にした内需により緩やかな回復傾向が見られておりましたが、平成23年3月11日に発生した東日本大震災による直接的な被害のみならず、福島原発事故による電力供給不足や風評被害などの2次災害が強く懸念され、一気に先行き不透明感が増す状況となっております。

外食産業においては、個人消費に持ち直しの動きはあるものの、雇用・所得環境の不安を抱える消費者の生活防衛意識が根強くあるところに、大震災を受けて自粛ムードが高まり、外食を手控える傾向が一層強くなるなど厳しい状況が続いております。

このように取り巻く環境が厳しさを増す中、当社は、安全・安心、安価で美味しいものを求める顧客の消費動向は、当社の掲げる経営理念“食の戦前回帰”にマッチするものであり、むしろ追い風であるとの認識で、顧客来店への動機付けを図る様々な取組みを行ってまいりました。

商品開発面では、九州地区において、1月に続き2～3月にも漁協とタイアップすることにより地場の新鮮な魚種を揃えてご提供する「ご当地フェア」を開催し、大変好評をいただきましたので、4月には関西地区にも拡大して「ご当地フェア長崎編」を実施し、漁協とのタイアップならではの新鮮な食材を品揃えしお楽しみいただきました。今後も各地の漁協と連携し、各「ご当地」自慢の新鮮食材をお楽しみいただけますよう全国展開してまいりたいと思います。

販売促進面では、2月に「JR西日本・新幹線」、3月には「名探偵コナン」、4月には昨年大反響をいただきました「ONE PIECE」とのタイアップキャンペーンを実施し、それぞれのオリジナルグッズをプレゼントする企画で、お子様から大人の方まで幅広い年齢層のお客様にお楽しみいただきました。さらに、大リーグ・松井秀喜選手が今季移籍されました、オークランド・アスレチックスが主催する「頑張ろう！日本プロジェクト」に協賛、パートナーシップを組みました。MLB公式戦の毎試合後行われる松井選手のインタビューで使用されるインタビューボードには「頑張ろう！日本 無添くら寿司」のロゴが入り、日本のみならず世界に向けて力強くメッセージを発信しております。

これらの結果、当第2四半期累計期間には、全店で昨年実績を約320万人上回る（前年比109.4%）お客様にご来店いただき、既存店客数に限っても前年比100.8%と前年を超えるお客様にご来店いただきました。一方、低価格志向を顕著にする消費動向を反映し、既存店の客単価は6カ月を通して前年実績を下回りました（前年比96.3%）ため、東日本大震災による営業自粛とともに売上予算が未達となる要因となりました。

また、店舗開発につきましては、四国への初進出を果たし、愛媛県松山市に第1号店を出店いたしましたのを初め、西日本地区で9店舗、東日本地区で5店舗の計14店舗を新規出店いたしました結果、当第2四半期末の店舗数は、全て直営で274店舗となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高362億83百万円（前年同期比5.6%増）、営業利益15億51百万円（同40.3%減）、経常利益17億85百万円（同34.8%減）、四半期純利益は7億70百万円（同50.8%減）となりました。

（2）財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の総資産額は293億84百万円となり、前事業年度末と比較して18億18百万円の増加となりました。これは、主に現金及び預金が8億33百万円減少した一方で、有形固定資産が17億54百万円、無形固定資産が2億17百万円、投資その他の資産が4億68百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、122億35百万円と前事業年度末と比較して12億96百万円の増加となりました。これは、主に未払法人税等が4億65百万円、設備関係未払金が1億37百万円、長期借入金が1億10百万円減少した一方で、買掛金が1億60百万円、未払金が4億29百万円、リース債務が5億83百万円増加、資産除去債務を8億90百万円計上したこと等によるものであります。

純資産につきましては、利益剰余金の増加により171億49百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローが19億1百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが20億34百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが7億1百万円の支出となり、この結果、当第2四半期末の現金及び現金同等物（以下「資金」という）残高は、期首より8億33百万円減少し、34億37百万円となりました。

当第2四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において営業活動の結果得られた資金は19億1百万円（前年同期比6.4%減）となりました。これは、主に税引前四半期純利益が13億98百万円となり、減価償却費が10億16百万円あったことと仕入債務が1億60百万円増加したこと、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額が3億11百万円あった一方で、未払法人税等の支払いが11億6百万円があったことと、未払消費税等の減少が1億94百万円あったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は20億34百万円（前期同期比160.2%増）となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出が15億4百万円、無形固定資産の取得による支出が1億38百万円、貸付けによる支出（建設協力金の支出）が2億95百万円、差入保証金の差入による支出が1億10百万円あったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

第2四半期累計期間において財務活動の結果使用した資金は7億1百万円（前年同期比35.3%増）となりました。これは、リース債務の返済による支出が3億43百万円、配当金の支払が2億47百万円、長期借入金の返済による支出が1億10百万円あったことによるものであります。

（3）業績予想に関する定性的情報

東日本大震災による当社設備への直接的被害は限定的で、人的被害もなく、現在全店舗で営業を行っておりますが、第2四半期累計期間の業績は、計画停電等により、時間短縮営業や休業を余儀なくされるなど、少なからず震災の影響を受けております。

さらに今後、電力不足による経済活動の縮小、風評による消費動向の変化、質・量相俟った農水産物の確保の困難等が懸念され、当社を取り巻く環境は厳しい状況が続くことが予想されます。一方でこれら震災に関係する諸問題が解消されてくるようになれば、震災復興による緩やかな需要の回復も考えられます。このような不透明な状況下、現時点での当社の業績への影響額を見極めることは非常に困難と考えられるため、通期業績予想は、当初の通期業績予想に上期の実績を反映させた、売上高762億8百万円（前年同期比7.7%増）、営業利益42億40百万円（同10.7%減）、経常利益46億51百万円（同7.4%減）、当期純利益23億55百万円（同17.2%減）としております。

2. その他の情報

（1）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

（2）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第2四半期累計期間の営業利益及び経常利益は、それぞれ30百万円減少し、税引前四半期純利益は3億41百万円減少しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成23年4月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,437,033	4,270,739
原材料及び貯蔵品	387,240	325,621
その他	1,018,194	868,607
流動資産合計	4,842,468	5,464,967
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	9,821,398	8,271,885
その他（純額）	6,333,796	6,128,926
有形固定資産合計	16,155,195	14,400,811
無形固定資産	857,280	639,479
投資その他の資産		
関係会社株式	97,905	97,905
長期貸付金	3,168,119	2,978,712
差入保証金	3,209,147	3,107,349
その他	1,054,490	877,145
投資その他の資産合計	7,529,662	7,061,112
固定資産合計	24,542,138	22,101,403
資産合計	29,384,607	27,566,371
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,061,145	2,900,831
1年内返済予定の長期借入金	200,000	210,000
未払金	2,663,215	2,275,348
未払法人税等	771,546	1,237,243
その他	1,226,250	1,323,382
流動負債合計	7,922,157	7,946,806
固定負債		
長期借入金	300,000	400,000
リース債務	2,642,108	2,244,435
資産除去債務	890,994	—
その他	480,212	347,668
固定負債合計	4,313,315	2,992,103
負債合計	12,235,473	10,938,910
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,005,329	2,005,329
資本剰余金	2,334,384	2,334,384
利益剰余金	12,809,420	12,287,747
株主資本合計	17,149,134	16,627,461
純資産合計	17,149,134	16,627,461
負債純資産合計	29,384,607	27,566,371

（2）四半期損益計算書
（第2四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 （自平成21年11月1日 至平成22年4月30日）	当第2四半期累計期間 （自平成22年11月1日 至平成23年4月30日）
売上高	34,345,067	36,283,057
売上原価	15,922,441	16,896,351
売上総利益	18,422,625	19,386,705
販売費及び一般管理費	15,823,811	17,835,531
営業利益	2,598,813	1,551,174
営業外収益		
受取利息	29,177	30,109
受取手数料	84,254	117,329
受取保険金	—	46,716
為替差益	1,361	1,100
物販収入	54,994	51,625
雑収入	25,615	50,662
営業外収益合計	195,402	297,543
営業外費用		
支払利息	26,188	34,747
物販原価	24,001	23,553
雑損失	3,732	4,776
営業外費用合計	53,922	63,078
経常利益	2,740,293	1,785,640
特別損失		
固定資産除却損	7,537	6,521
店舗閉鎖損失	4,106	19,062
災害による損失	—	50,046
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	311,193
特別損失合計	11,643	386,823
税引前四半期純利益	2,728,650	1,398,816
法人税、住民税及び事業税	1,152,000	706,000
法人税等調整額	13,024	△77,254
法人税等合計	1,165,024	628,745
四半期純利益	1,563,625	770,070

(第2四半期会計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期会計期間 (自平成22年2月1日 至平成22年4月30日)	当第2四半期会計期間 (自平成23年2月1日 至平成23年4月30日)
売上高	16,581,197	17,909,034
売上原価	7,585,229	8,326,913
売上総利益	8,995,968	9,582,120
販売費及び一般管理費	7,857,754	9,018,434
営業利益	1,138,213	563,685
営業外収益		
受取利息	14,479	15,024
受取手数料	44,100	61,432
為替差益	2,349	538
物販収入	27,357	25,625
雑収入	15,369	8,201
営業外収益合計	103,656	110,823
営業外費用		
支払利息	13,448	17,640
物販原価	12,067	11,653
雑損失	1,443	1,737
営業外費用合計	26,959	31,030
経常利益	1,214,910	643,478
特別損失		
固定資産除却損	4,471	5,300
店舗閉鎖損失	2,213	19,062
災害による損失	—	50,046
特別損失合計	6,685	74,409
税引前四半期純利益	1,208,224	569,069
法人税、住民税及び事業税	563,000	303,000
法人税等調整額	△43,527	△41,183
法人税等合計	519,472	261,816
四半期純利益	688,752	307,253

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年11月1日 至平成22年4月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年11月1日 至平成23年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	2,728,650	1,398,816
減価償却費	747,481	1,016,083
受取利息	△29,177	△30,109
支払利息	26,188	34,747
固定資産除却損	7,537	6,521
店舗閉鎖損失	4,106	19,062
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	311,193
災害損失	—	50,046
たな卸資産の増減額(△は増加)	△87,598	△72,272
仕入債務の増減額(△は減少)	△94,433	160,314
未払消費税等の増減額(△は減少)	△144,597	△194,864
その他	△72,696	371,214
小計	3,085,460	3,070,753
利息の受取額	2	247
利息の支払額	△25,884	△33,889
災害損失の支払額	—	△28,752
法人税等の支払額	△1,028,355	△1,106,696
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,031,222	1,901,662
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△580,728	△1,504,628
無形固定資産の取得による支出	△19,912	△138,838
貸付けによる支出	△74,725	△295,001
差入保証金の差入による支出	△129,225	△110,969
差入保証金の回収による収入	24,879	19,071
その他	△2,057	△3,938
投資活動によるキャッシュ・フロー	△781,769	△2,034,304
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△120,000	△110,000
リース債務の返済による支出	△152,657	△343,970
配当金の支払額	△245,509	△247,093
財務活動によるキャッシュ・フロー	△518,167	△701,063
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	731,285	△833,705
現金及び現金同等物の期首残高	2,655,084	4,270,739
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,386,370	3,437,033

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。